

寄贈図書リスト

生命は、宇宙のどこで生まれたのか、福江 翼、
新書判、250 頁、780 円+税、祥伝社

月報だより

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mail で toukou@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送りください。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

国立天文台 ALMA 推進室・助教 1 名

1. 2010 年 7 月（第 103 巻 7 号）
2. 平松正顕（台湾中央研究院・天文天体物理研究所）
3. 2011 年 3 月 1 日

茨城大学理学部物理学領域（宇宙）教員

1. 2010 年 9 月（第 103 巻 9 号）
2. 片桐秀明（広島大学大学院理学研究科物理科学専攻助教）
3. 2011 年 4 月 1 日

研究会・集会案内**第 10 回「君が作る宇宙ミッション」参加者募集**

宇宙航空研究開発機構（JAXA）では、高校生（および相当年齢の方）を対象とした体験学習プログラム、「君が作る宇宙ミッション」の参加者を募集します。

このプログラムは 4 泊 5 日の合宿形式で、JAXA 相模原キャンパスに滞在しながら、数人のチームを組む、自分たちのミッション計画を作り上げるものです。参加者は自分たちの作りたいミッションを議論して決定し、その目的を達成する方法について研究・調査・解析を行います。最後には、最前線で働く研究者の前で研究成果の発表を行います。期間中は、実際に JAXA 相模原キャンパスで研究活動に従事している若

手研究者がアドバイスし、議論の相手になります。彼らと一緒に研究活動を行うことで、研究者の日常や研究の進め方を学ぶことができ、宇宙科学の最前線の雰囲気を経験することができます。宇宙科学に興味を持つみなさんの参加をお待ちしております。

主 催：宇宙航空研究開発機構 宇宙教育センター/
宇宙科学研究所

期 間：2011 年 8 月 1 日（月）～8 月 5 日（金）

会 場：宇宙航空研究開発機構 相模原キャンパス
（神奈川県相模原市）

対 象：高校生、あるいは相当年齢の方（高専の方は 3 年次まで）

定 員：20 名程度（応募者多数の場合は、作文による選考を行います）

参加費用：会場までの交通費、5 日間の食事代（4 泊 5 日分：8,000 円程度）、宿泊費を自己負担でお願いします。

※保険料は JAXA が負担します。

※宿泊費は（JAXA）相模原キャンパス内宿泊施設の場合は無料となります。参加費用については変更になる場合もあります。

応募方法：以下の二つを 6 月 6 日（月）までに、【郵送】にて提出してください。

1. 申込用紙：A4 用紙 1 枚に、次の 9 項目を明記してください。

①氏名、②生年月日、③性別、④住所、⑤電話番号、⑥学校名、⑦学年、⑧e-mail アドレス（あれば）、⑨「君が作る宇宙ミッション」を知ったきっかけ。

2. やってみたいミッションに関する作文：あなたがやってみたい宇宙ミッションについて A4 用紙 2 枚に述べてください。

・期間中に取り組むミッションは、各チームで議論の上、決定します。

・詳しくは「君が作る宇宙ミッション」のホー

ムページをご覧ください。

URL:<http://www.isas.jaxa.jp/kimission/>

- 宇宙科学に関する知識よりも参加への意欲を重視にします。

郵送先: 〒 252-5210 相模原市中央区由野台 3-1-1
宇宙航空研究開発機構 宇宙教育センター
「君が作る宇宙ミッション」事務局

締切日: 6月6日(月) 必着

応募結果: 6月下旬までに本人宛に郵送します。

問合せ: 「君が作る宇宙ミッション」事務局

Tel: 050-3362-4662

(受付時間: 土日祝日, 年末年始等を除く平日
9:30~17:30)

Fax: 042-759-8612

e-mail: kimission@jaxa.jp

名古屋大学大学院理学研究科・名古屋市科学館共催 第9回 坂田・早川記念レクチャー

「CP 対称性の破れの研究の進展」

小林 誠 氏

(日本学術振興会理事・名古屋大学特別教授・高エネルギー加速器研究機構特別荣誉教授)

平成23年4月16日(土) 15:00~17:00

名古屋市科学館サイエンスホール

■対象: 高校生以上

■定員: 300名(申込制, 多数の場合は抽選)

■受講料: 無料(ただし, 科学館の観覧料が必要です。
(高校生, 大学生 200円/大人 400円))

■講演会ホームページ:

<http://www.eken.phys.nagoya-u.ac.jp/sakata-hayakawa/>
~集まれ, 科学者を夢見る若者たち!~

坂田・早川記念レクチャーは, 坂田昌一教授, 早川幸男教授の業績をたたえつつ, 21世紀を担う研究者の発掘および育成を目的として設立されました。第9回となる今回は, CP対称性の破れを説明するには, クォークが少なくとも6種類必要である, とする理論(小林-益川理論)により, 2008年ノーベル物理学賞を受賞された小林 誠氏をお招きして, 小林-益川理論の提唱から実験的検証にいたる進展について, お話を伺います。小林氏は, 小林-益川理論を提唱されただけでなく, その実験的な検証に重要な役割を果たしたBファクトリー実験についても, 高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所長として推進されました。この講演では理論, 実験両面にわたって興味深く語っていただきます。

申込方法: 以下のいずれかの方法でお申込みください。

(申込みで寄せられた個人情報, 本セミナーの運営に必要な範囲でのみ使用します。)

- 1) 講演会ホームページ

<http://www.eken.phys.nagoya-u.ac.jp/sakata-hayakawa/> からお申込み。

- 2) 往復はがきに, 住所, 氏名, 高校生・大学生・一般の区分, 電話番号, 返信部分に申込者の宛名を記入して,

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17-1

名古屋市科学館「坂田・早川記念レクチャー」係まで郵送。

申込締切: 2011年4月2日(土) 必着

問合せ先: 講演の内容等に関する問合せ

名古屋大学理学部 E 研

Tel (052) 789-2927 (担当) 前川

申込み方法, 会場等の問合せ

名古屋市科学館

Tel (052) 201-4486 (担当) 天文係 持田

茨城大学宇宙科学教育研究センター/ 国立天文台水沢 VLBI 観測所茨城局 第2回【公開天文台】のお知らせ

日立市と高萩市に跨ってある32mパラボラアンテナ2基は, 衛星通信アンテナから電波望遠鏡への改造が成され, 国際的にも優れた天文学研究の成果を挙げ始めました。

子どもたちを含め, 多くの地域のみなさんに, 宇宙の科学に親しんでいただきたいと考え, 第2回公開天文台を昨年に引き続き開催することとなりました。

日時: 2011年4月9日(土) 13時~17時, 10日(日) 10時から16時(雨天決行)

場所: 茨城県高萩市石滝上台 627-1
茨城大学 宇宙科学教育研究センター
国立天文台 水沢 VLBI 観測所
(旧 KDDI 茨城衛星通信所)

主催: 茨城大学宇宙科学教育研究センター

共催: 国立天文台水沢 VLBI 観測所茨城局

後援: 高萩市教育委員会, 高萩市観光協会, 日立市教育委員会, 日立市観光協会

協賛: 茨城県北ジオパーク推進協議会

内容: 施設見学, 講演, 親子科学体験教室, 4次元シアター上映, パラボラ模型で遊ぼう, 物産展(宇宙グッズ)等 (詳細はホームページに掲載します)

参加料: 無料

駐車場: 無料 普通車約300台駐車可(当日は混雑が

予想されます)

アクセス: 鉄道: JR 常磐線高萩駅下車, バス: 高萩駅
発いぶき台団地行き, 高萩工業高校前(約8
分)下車, 徒歩5分,
乗用車: 常磐自動車道 高萩インター高萩市
街方面約15分9km

注 意: アンテナ見学は動きやすい服装, 靴で参加く
ださい。

問い合わせ: 茨城大学 宇宙科学教育研究センター
〒318-0022 茨城県高萩市石滝上台 627-1
(開館は10時から17時)
Tel: 0293-24-9516 Fax: 0293-24-9517
メールアドレス: infoast@mx.ibaraki.ac.jp
URL: <http://www.asec.ibaraki.ac.jp/>

そ の 他

第19回衛星設計コンテスト

本コンテストは, 全国の大学院, 大学および高等専
門学校の学生および高等学校の生徒を対象としてお
り, 宇宙にかかわる基礎・応用研究を積極化する機会
を提供し, あわせて我が国の宇宙開発のすそ野の拡大
に寄与しようとするものです。学生の自由な発想によ
る小型衛星をはじめとするさまざまな宇宙ミッション
のコンセプト, アイデア, 設計構想等を全国から募集
し, 審査の上優秀な作品を寄せたグループ〔または個
人〕を表彰します。

本コンテストは, 衛星開発の専門家による教育の場
でもあります。この観点から, 学生の衛星設計への挑
戦的な応募に対しては適切な指導を行い, 再挑戦も期
待しています。

主 催: 日本機械学会, 日本航空宇宙学会, 電子情報
通信学会, 地球電磁気・地球惑星圏学会, 日
本天文学会, 宇宙航空研究開発機構, 宇宙科
学振興会, 日本宇宙フォーラム

後 援: 文部科学省, 総務省(予定)

応募方法: 応募区分「設計の部」, 「アイデアの部」お
よび「ジュニアの部」

設計条件および応募方法等の詳細に関しましては,
衛星設計コンテストホームページ

([http://www.jsforum.or.jp/event/contest/
index.html](http://www.jsforum.or.jp/event/contest/index.html)) でご確認ください。

「設計の部」では衛星設計の確実さを, 「アイデアの
部」では提案するミッションの独創性・有用性を競
います。「ジュニアの部」は自由な発想で宇宙に活用

できそうなアイデアに富んだ衛星を提案してくださ
い。詳細な設計は必要ありません。

応募資格: 「設計の部」, 「アイデアの部」は大学院, 大
学, および高等専門学校等の学生のグループ〔また
は個人〕, 「ジュニアの部」は高校生のグループ〔また
は個人〕を対象とします。(グループの場合は指導教
官を含んでも構いません。また, 異なる学校等の学
生からなる合同チームでも構いません。ただし, 1グ
ループは10名以内と制限させていただきます。)

応募作品は, 過去に応募し, 一次審査(書類審査)で
落選した作品であっても, 指導等を加味し再度検討
を重ねて改良したものについては, 新たな応募とし
て認めます。

スケジュール:

参加登録受付: 2011年4月1日(金)~5月27日(金)

作品応募受付: 2011年5月9日(月)~7月14日(木)

第1次審査結果通知: 2011年8月12日(土)

最終審査会: 2011年11月12日(土)

最終審査会会場: 一橋記念講堂(東京都千代田区一
ツ橋2丁目1番2号)

審 査: 第1次審査 書類審査により10~15件程
度を選定

最終審査 発表会形式の審査会にて第1
次審査合格者の中から, 設計
大賞・アイデア大賞・ジュ
ニア賞および主催学会等からの
賞・審査員特別賞を選定する。

コンテスト参加登録料: 3,000円

(参加登録料は参加をご辞退された場合でもお返
しできませんのであらかじめご了承ください。)

参加ご希望の方は, 募集要領および参加登録様式を
ホームページからダウンロードいただくか, 下記申込
先に電話か電子メール等でご請求ください。

申込先: 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1

新大手町ビル7階

(財)日本宇宙フォーラム 衛星設計コンテ
スト事務局(担当: 武石)

電話 (03)5200-1302

Fax (03)5200-1420

e-mail: satcon19@jsforum.or.jp

Web: [http://www.jsforum.or.jp/event/
contest/index.html](http://www.jsforum.or.jp/event/contest/index.html)

会 務 案 内

【日本天文学会理事会議事録】

日 時: 2011年1月22日(土) 13:00~17:00

場 所: 国立天文台三鷹 大会議室

出席理事: 岡村, 杉山, 河合, 本原, 竹田, 松尾,
田代, 茂山, 柏川, 幸村, 吉川, 梅村,
太田, 仲野 (以上 14 名)

欠席理事: 山田 (以上 1 名)

その他, 前年度までの理事である柴田, 高田, 堂谷,
児玉, 半田, 小川, 藤沢, 藤本の各氏が出席した。
また, 宮下事務長と桜井 隆氏 (PASJ 編集顧問会
議幹事) が出席した。

I. 確認事項など

- I-1 議事に先立ち, 議長と署名人の確認がなされた。議長: 岡村定矩 署名人: 竹田洋一,
本原顕太郎
- I-2 新旧理事の自己紹介が行われた。
- I-3 新理事長の挨拶が岡村理事長より行われた。

II. 報告

- II-1 前回議事録の確認 (資料 1, 竹田) 資料 1 に基
づき, 前回 (2010 年 9 月 22 日) の理事会議事
録が報告・確認された。
- II-2 前回以降の新入退会など会員の変動 (資料 2,
竹田) 2010 年 9 月 18 日より 2011 年 1 月 21
日までの間の会員変動が報告された。新たに
できた休会制度に 1 名より申請があり, 実務
理事で議論した上で承認した旨報告された。
- II-3 2010 年度監査報告 (資料 3, 竹田, 田代) 2011
年 1 月 19 日に国立天文台で紀伊恒男および
牧島一夫両監事によって行われた監査結果が
報告された。2010 年度事業報告書案, 2010 年
度決算報告書案ともに正当であると承認され
た。また, その際,
 - 監事には高度な会計知識が要求されるため
に, 現在定款で定められている日本天文学
会正会員以外に専門の公認会計士を追加す
ることを検討するべきでないか
 - 会費未納者が多いため, たとえば支払いは
基本口座引落にするようできないか
などのコメントが出された旨報告された。
- II-4 事業担当理事の近況, 引き継ぎ報告
 - 年会 (幸村) 年会期間中展示ブースの試行
を決定した。また, 年会中の行事の担当理
事間の情報共有及び作業の確認を行う場を
設けることとした。
 - 天文月報 (児玉, 柏川) 新たなアイデアを
積極的にいれた書面づくりを進めてゆきたい。
 - PASJ (資料 4, 茂山, 堂谷; 追加資料,
桜井) 本年度は, 特集号が 5 回 (暗黒星雲,

VERA, Subaru, Hayabusa, Suzaku) 出る。
そのうち単独特集号は 3 回 (暗黒星雲,
Subaru, Suzaku)。紙版配布停止の希望者は
現在 519 人。なお, 印刷部数は 2000 部弱。
昨年後半から始めた E-Open 申し込みは 13
編あり, 順調である。また, その際の議論
として莫大な量のカタログを特集として紙
版で出版しても有効に利用されるだろう
か, 無駄にコストをかけることにならない
かとの懸念が表明された。このような特集
号の意義を調査し, 長大な図表については
電子的な出版のみにとどめるような新たな
制度をつくれぬか, 検討していく事とし
た。PASJ 編集顧問会議幹事の桜井 隆氏
より, PASJ の国際化をすすめるために東
アジアの著名な中堅天文学者を編集委員に
追加することが提案された (配布資料)。議
論の結果認めることとし, 評議員会の意見
を聞くこととした。編集委員は「原則とし
て日本天文学会正会員である」必要がある。
しかし, 編集委員をお願いしてさらに
正会員になっていただくことを条件にする
のは「はばかり」があるので, 理事長の承
認のもとにある種の特例措置を考える。ま
た, 編集顧問幹事である桜井氏には顧問会
議での議論の進捗を定期的に理事会で報告
していただくこととした。

- 庶務 (竹田) 登録メールアドレスが tennet
とデータベースで齟齬があった問題は統合
して解決した。また, 事務所のサーバのリ
プレイスが完了した。
- 会計 (田代, 松尾) 監査の前に, 公認会計士
によるチェックをしてもらうようにした。
- 天文教育 (半田) 講師紹介事業について,
名古屋市科学館に実務を委託していたが,
現在建て替えにともなってネットワーク不
通となる問題が出ている。対応中。また,
講師紹介事業の利用率が低下しており, 何
らかの対応を考えている。
- II-5 事務所の近況報告 (資料 5, 宮下) 宮下事務長
より事務所パート職員の退職・採用の状況が
説明された。また, 2011 年 1 月 4 日仕事始め
を行った。岡村理事長ほか数名の役員が参加
したことが報告された。
- II-6 2010 年度版名簿作成に関する報告 (資料 6,
宮下) 2010 年版の「会員名簿」に掲載された
新役員名簿に間違いがあることが印刷配布後

に判明した。具体的には、監事および選挙管理委員会のメンバーの名前に一部誤りがある。訂正および謝罪文を tennet に流すとともに、天文月報に掲載する。

II-7 今後の年会の準備状況（梅村，太田，仲野）

- 筑波大学（配布資料，梅村）
 1. 8会場，632講演
 2. 展示コーナー申し込みは一般7件，会員1件。
 3. 懇親会会場は最大270名。当日受付が無くなる可能性がある。
 4. 公開講演会はつくばエクスプレスの駅からすぐの場所。4講演で，開催経費は科研費で採択された100万円及び，つくば市からの補助21万4千円。講演謝金については，学会員でない佐藤直樹氏のみ支払う。学会の各種事業に対する謝金の支払いが必ずしも統一されていないように見えるので，考え方を整理する必要がある。
 5. 臨時バスを手配している。
- 京都大学（太田）
 1. 現在の予定は2012年3月19日～22日
 2. 場所は龍谷大学深草キャンパスで，同大学の中山薫二氏に大いに助けていただいている。
 3. 公開講演会および記者発表は3月18日を予定しているが，場所は未定。
 4. 京大で行えなかった理由は会場使用料見積もりが200～300万円と非常に高額であったため。その一方で，龍谷大学は大学で認められた場合は使用料は免除となる。この問題に対して，庶務理事が主体となって日本の主要大学キャンパスで年会を開催した場合にかかる費用を調査することとした。
- 大分大学（仲野）
 1. 現在の予定は2012年9月19日～21日
 2. 会場費の見積もりはまだ行っていない。
 3. 部屋の確保は完了している。

II-8 学生会員の身分確認について（竹田）すでに学生でなくなっているにもかかわらず，届けを出さずに学生会員として登録されたままになっている会員がいるという件についてのその後の調査報告がなされた。一時危惧された「不正に学生割引会費で済ませている会員が多くいて学会側が損をしているかもしれな

い」という心配は無いことが判明した。しかし，身分変更したのかどうか不明の会員も少なくないので，学生割引で会費支払いをする会員は会費納入の際に在学中である旨の自己申告をさせることにした。

II-9 巡回展（半田）100周年記念事業に引き続いて行われていた巡回展示は本年5月に熊本での開催を最後に終了する。なお，終了後展示物については引取先を募り，決定した。

II-10 衛星コンテスト（岡村）岡村理事長が1月21日に行われた実行委員会に，坂尾太郎委員とともに出席した。主に衛星の技術を審査する「設計の部」と，アプリケーションやアイデアを審査する「アイデアの部」に加えて「ジュニアの部」もある。慎重な審査とアドバイスを行う教育プログラムであり，日本天文学会，地球電磁気学会など理学系の学会の参加も重要視されている。

III. 議題

III-1 2010年度事業報告書案（資料9，竹田）昨年度の事業報告書案が竹田庶務理事より説明された。文科省からの指導により，各項目に対して，定款のどこに対応するのかの説明などが今回から新たに追加された。後援事業などのリストの内容に不備がある点が指摘され，この点を改善することを条件に承認された。

III-2 2010年度決算報告書案（資料10，田代）昨年度の決算報告書案が田代会計理事より説明された。

- 一般会計：会費収入およびPASJ収入が増収であったこと，及びに星座早見盤に増刷がかかり，臨時で収入があったのに対し，支出も伸びたものの，最終的に135万円の黒字であった。その結果，繰越金の残高は1800万円程度となっている。この金額が多すぎるか少なすぎるかという質問に対しては，年間の予算規模が8000万円近くある状況であり，次年度の会費納入までの1-3月の間のキャッシュフローを確保するためには2000万円程度が必要になることを考えると適正レベルである旨説明された。また，昨年度は科研費収入がそれ以前より大幅に増えて780万円あったことから黒字になっているが，依然として会計的にはぎりぎりの状況にあることは変わらない。

- 特別会計：研究奨励賞，内地留学基金は新規収入がないためあと9年ほどで残額がな

くなる。林 忠四郎賞基金は残額が多く、あと 30 年ほどは大丈夫である。その一方、早川基金については継続的な寄付がなされており、残額の心配はない。これらの問題については、監査のコメントにもあったように寄付を集めることをそろそろ考え始める必要がある。

これらの議論ののち、決算報告書案は承認された。

III-3 2011 年春季定期総会議題案（資料 11, 竹田）
竹田庶務理事より各議題案についての説明があったのち、承認された。

III-4 内地留学制度に関する内規について（竹田）
岡崎内地留学奨学金選考委員長より申し出のあった、内地留学制度に関する内規において
・終了後決算報告書を提出することの義務化
・留学成果報告書の内容を天文月報上に発表することを推奨する
という二項を付加するように変更したい、という提案について議論した結果、特に必要とは認められないという意見が優勢を占めた。従って内規の変更は行わず、決算報告書については報告書の書式に決算を記入する箇所を新設し、天文月報記事についても公募書類上にその旨記述することで対応してもらうこととした。

III-5 巡回企画展担当幹事について（竹田）巡回企画展は 5 月まで継続されるものの、担当していた半田教育理事の任期は 2010 年 12 月で終了した。そのため、継続して半田氏に担当していただくため、『巡回企画展示担当幹事』の肩書を付与することとした（2011 年末まで）。

III-6 準会員の年会参加費（資料 7, 幸村）2010 年 9 月の理事会で本間前年会実行理事から提案された、準会員の年会参加費の引き上げを検討した結果について幸村年会実行理事から、現在年会の会計はほぼ独立しており、受益者負担の観点から準会員の講演登録料は本会員と同じでよいのではないかという説明がなされた。これに対し、そもそもの準会員の位置づけを考えた場合にそれはやはり問題であるという指摘が複数の理事からなされ、最終的に、準会員の年会参加費については参加費 3000 円、講演登録費は 1 講演につき 5000 円とすることとし、評議員会の意見を聞くこととした。なお、正会員は参加費 3000 円、講演登録費は 2 講演目から 3000 円である。また、

年会費は正会員が 18000 円、準会員が 8000 円であることから、会費の観点からもこの額は妥当であろうと考えた。

III-7 年会登録費の事前支払（資料 8, 幸村）年会の参加費および講演登録費は現在現地での現金払いとなっている。しかしながら、この現金は総額が 200 万円以上となってしまう、それを ATM まで輸送する際のセキュリティリスクは非常に高い。そこで、年会講演者に限り参加・登録費の事前支払いを原則としたい旨幸村年会実行理事より提案があった。これについて、評議員会の意見も聞きながら、できるだけさまざまな可能性を追求しつつ検討を進めることを承認した。

今回の理事会は、春季年会期間中、2011 年 3 月 16 日に筑波大学で開催される予定である。

[資料リスト]

- 資料 1 前回理事会 (2010/9/22) 議事録
- 資料 2 新規加入者などの報告 (2010/9/18-2011/1/21)
- 資料 3 監査報告書
- 資料 4 PASJ 編集委員会からの報告
- 資料 5 事務所の近況報告
- 資料 6 2010 年度版名簿作成に関する報告
- 資料 7 準会員の年会参加費に関する現状と提案
- 資料 8 年会登録費の事前支払について
- 資料 9 社団法人日本天文学会 2010 年度事業報告書案
- 資料 10 2010 年度会計報告書案
- 資料 11 2011 年度春季定期総会議題案
- 資料 12 巡回企画展担当幹事
- 資料 13 内地留学奨学金応募書類
- 配布資料 PASJ 編集委員に東アジアからも 1~2 名を加え、国際化の第一歩とする提案
- 配布資料 2011 年日本天文学会春季年会開催地準備状況報告

2011 年 2 月 14 日

議長：岡村定矩 印
署名人：竹田洋一 印
署名人：本原顕太郎 印

【日本天文学会評議員会議事録】

日時：2011 年 2 月 5 日（土）13:00~17:00

場所：東京大学理学部 1 号館 336 号室

出席評議員：井上, 岡村, 奥村, 海部, 須藤, 牧島, 嶺重, 劉, 渡部, 坂田, 佐藤, 杉山, 谷口, 筒井, 望月, 山田（以上 16 名）

欠席評議員：家，伊藤，池内，観山（以上4名）

その他，河合副理事長，本原・竹田庶務理事，松尾・田代会計理事，宮下事務長，及び北山哲氏（研究奨励賞選考委員）が出席した。

なお，岡村理事長と杉山副理事長は評議員を兼任している。

I. 確認事項など

- I-1 議事に先立ち，出席者が16名で定足数を満たし，本会が成立することが確認された。また議長と署名人が以下のとおり選出された。
議長：井上 一
署名人：奥村幸子，筒井 亮
- I-2 新理事長である岡村評議員より，新執行部の紹介が行われた。
- I-3 資料1に基づいて前回2010年9月23日の評議員会議事録の確認が行われた。

II. 報告

- II-1 理事会報告（資料2，竹田）竹田庶務理事より資料2に基づいて，2011年1月22日に行われた理事会の報告が行われた。PASJの国際化をすすめるため編集委員に東アジアの著名な中堅天文学者を迎える案が説明され，特に異論は出なかった。
- II-2 2011年度秋季年会開催地報告（山田）山田評議員より，東北大学で行われる2011年度秋季年会の準備状況について報告された。大きな問題はなく進んでいるが，地下鉄工事のため年会開始日前日に全学で断水停電となることが判明した。予定されている記者発表については代替地を用意しているので問題ない旨説明された。
- II-3 事務所関係報告（資料3，宮下）宮下事務長より資料3に基づいて，事務所関係の報告が行われた。2010年版会員名簿に掲載された新役員名簿に間違いがあることが印刷配布後に判明し，訂正および謝罪文をtennetに流すとともに，天文月報に掲載する。
- II-4 2010年度早川基金報告（資料4，竹田）竹田庶務理事より資料4に基づいて，2010年度早川基金について報告された。応募状況は，競争率が2倍程度であった。資料に記載された情報について，申請額のみが記載されており，今後は精算額も併記する事が確認された。
- II-5 若手の会からの報告（当日配布資料，坂田）坂田評議員より当日配布資料に基づいて，前評議員会での検討事項となっていた，日本天文学会年会旅費補助制度の改善についての報

告がなされた。特に，本当に旅費補助が必要な学生が恩恵を受けられるようにするため，募集要項で他財源がある場合の申請を控えるよう呼びかけ，他財源からの交通費の補充を禁止することにより，余裕のある人の申請を抑制するようにした旨報告された。これに対し，支給額増額の要望はないのかなどの質問，さらには学会として大学院生の発表者の旅費を保証することを最終的な目標とするべきではないか，目的を決めた寄付を会員などから募るのはどうか，そもそも大学院生の貧富の差が大きくなっていることが問題である，などの意見が出された。

- II-6 学術会議の報告（海部）海部評議員より，学術会議の最近の状況が報告された。

- 2011年10月に会員の改選がある。現会員の海部および佐藤は改選され，再選はない。次会員が決まるのは6-7月であるが，学術会議の役割が明確になってきて影響力も大きいので注視してほしい。
- 昨年完成した，学術会議が提言した大型計画マスタープランは政府内で非常に大きな反響があり，科学政策決定の要ということで文科省も歓迎している。現在そのマイナーチェンジ中であるが，2年後には大改訂を行う予定であるのでその事についても考え始めている。

など

- II-7 IAU 関連報告（岡村）岡村評議員より，IAU 関連の報告が行われた。現在日本のIAU 会員数は第3位であるので，積極的に関わって欲しい旨説明があった。これに対し，具体的にどのように関わればいいのか分かりにくいという意見が出され，基本的にはIAUのwebを見てほしい，定期的な報告は学会の総会で行っている，などの議論がなされた。

- II-8 学生会員の身分確認について（竹田）竹田庶務理事より，昨年度の評議員会で報告された，すでに学生でなくなっているにもかかわらず届けを出さずに学生会員として登録されたままになっている会員がいるという件についてのその後の調査報告がなされた。「不正に学生割引会費で済ませている会員が多くいて学会側が損をしている」ということはないことが判明した。しかし，身分変更したか不明な会員も少なくないので，今年度より学生会員は会費納入の際に在学中である旨の自己

申告を提出させることにした。また、卒業時に退会の手続きを行うよう若手の会からアナウンスするよう要請した。

III. 議題

III-1 2010年度事業報告書案（資料5, 竹田）昨年度の事業報告書案が竹田庶務理事より説明された。文科省からの指導により、各項目に対して定款のどこに対応するのかの説明などが今回から新たに追加されたことが報告された。また、大学院生の年会旅費補助制度について、旅費補助額を事前に知らせて欲しいという要望に対し、実際にそのように実施した旨の一文を追加したらよいのではないかという提案がなされた。これらの議論の後、事業報告書案が承認された。

III-2 2010年度決算報告書案（資料6, 田代）昨年度の決算報告書案が田代会計理事より説明された。

- 一般会計：会費収入および PASJ 収入が増収であったこと、星座早見盤に増刷がかかり臨時で収入があったのに対し、支出も伸びたものの、最終的に 135 万円の黒字であった。
- 特別会計：研究奨励賞、内地留学基金は新規収入がないためあと 9 年ほどで残額がなくなる。林 忠四郎賞基金は残額が多く、あと 30 年ほどは大丈夫である。その一方、早川基金については継続的な寄付がなされており、残額の心配はない。

これらの議論ののち、決算報告書案が承認された。

III-3 2010年度監査報告（資料7, 牧島）牧島監事より、2011年1月19日に国立天文台三鷹で紀伊恒男および牧島一夫両監事によって行われた監査結果が報告された。2010年度事業報告書案、2010年度決算報告書案ともに正当であると承認された。

III-4 2010年度各賞受賞者の決定

- 林 忠四郎賞・欧文研究報告論文賞（資料8, 井上）河合副理事長が退席後、林 忠四郎賞、欧文研究報告論文賞の選考委員である井上評議員より資料8-1に基づき、林忠四郎賞の選考経過、及び最終候補者に河合誠之を推薦する理由が説明されたのち、同氏に授賞することを決定した。河合副理事長が復帰の後、資料8-2に基づき欧文研究報告論文賞の候補論文2編について

の推薦理由が説明され、推薦通り Ishizaki et al. (2007) 及び Shimasaku et al. (2006) に授賞することを決定した。その後、PASJ 編集委員会による欧文研究報告論文賞への推薦の手続きの現状とあるべき形などについて議論された。現在行われていない、論文引用数などの情報の選考委員会への提供について、選考委員会に考え方を整理するように求めることとした。

- 研究奨励賞（資料9, 北山）北山 哲研究奨励賞選考委員から、資料9に基づき、研究奨励賞の選考経過および候補者3名の推薦理由の説明がなされた。今回は7件7名の推薦があり、レベルは総じて高かったことが報告された。推薦理由についての議論の後、推薦通り、鈴木 建氏、長尾 透氏、馬場 彩氏の3名に授賞することを決定した。

- 天体発見賞・功労賞（資料10, 渡部）天体発見賞選考委員の渡部評議員より資料10に基づき、天体発見賞6名/グループ21件、及び天体発見功労賞9名10件の推薦理由が説明され、推薦通り授賞することを決定した。引き続き渡部評議員より資料10に基づき天文功労賞の長期部門1名、短期部門2名の候補者の推薦理由が説明された。推薦理由の議論の後、推薦通り授賞することを決定した。

III-5 2011年春季定期総会議題案（資料11, 竹田）竹田庶務理事より資料11に基づき、春季定期総会の議題案についての説明がなされ、一部表現を修正することを条件に承認された。

III-6 会費未納による除名者（資料12, 竹田）竹田庶務理事より資料12に基づき、2009,2010年度2年分の会費未納による除名予定者のリストが説明された。2月中に会費の支払いがあった場合には取り消しも可能であることが説明され、承認された。

III-7 年会の参加費・登録料について（資料13, 竹田）

- 竹田庶務理事より資料13に基づき、準会員の年会講演登録料を一件あたり5000円に値上げを行う案が提案された。これに対し、アマチュアの発表を抑制することとなり、日本天文学会の基本的な考え方と相容れない、アマチュア会員の発表が準会員の発表のうちどの程度あるかを調べるべき、そもそも準会員になるかどうかは本人の自

覚に基づくべきで金銭的な誘導は望ましくない、などの議論があり、結論には至らず今後も更に審議を継続することになった。それに向けて、年会発表での準会員発表状況と、特別会員と通常会員時代には差があったといわれている参加・登録費が、準会員と正会員のおなじになった経緯を調査することとなった。

- つづいて、竹田庶務理事より年会の参加費・講演登録料を原則事前支払いする事を検討する案について説明された。これについて、会員の利益になるだろう、クレジットカード決済が可能になるようにしてほしい、などの意見が出され、事前支払いの検討を積極的に推進することが承認された。

III-8 公益法人への移行について(杉山) 杉山副理事長より、公益法人への移行の検討状況について報告された。現在は会員による総会が意思決定の場となっているが、法人に移行した場合は社員総会を行い、社員半数以上の本人出席が求められる。この際委任状は認められない。現実的には現在の総会は維持できず、たとえば評議員会を社員総会とするなど、何らかの工夫をしないとイケない。また、一般法人という可能性もあるが、寄付に対しての免税措置がないことから、寄付者のことを考えると公益法人を追求すべき。これらの件については整理し、改めて報告することとなった。また、次々回の定期総会で会員への説明を行う必要があることが指摘された。

今回の評議員会は、春季年会期間中、2011年3月17日に筑波大学で開催される予定である。さらに、次々回

の評議員会の開催日時を2011年7月9日と決定した。

[資料リスト]

- 資料1 前回評議員会(2010/9/23)議事録
- 資料2 前回理事会(2011/1/22)議事録
- 資料3 事務所の近況報告
- 資料4 2010年度早川基金採択者リスト
- 資料5 社団法人日本天文学会2010年度事業報告書案
- 資料6 2010年度会計報告書案
- 資料7 監査報告書
- 資料8-1 林 忠二郎賞候補者推薦理由書
- 資料8-2 2010年度PASJ論文賞候補推薦理由書
- 資料8-3 2010年度欧文研究報告論文賞候補推薦理由書
- 資料9 第22回(2010年度)日本天文学会研究奨励賞候補者推薦理由書
- 資料10 2010年1月~12月期の天体発見賞・天体発見功労賞候補者の推薦/2010年1月~12月期の天体功労賞候補者の推薦
- 資料11 2011年度春季定期総会議題案
- 資料12 除名予定者リスト
- 資料13 年会における準会員の参加費・講演登録料について/講演登録料の事前支払いについて
- 配布資料 若手からの報告
- 配布資料 年会における準会員の参加費・講演登録料についての追加資料

2011年3月3日

議長: 井上 一 印
署名人: 奥村幸子 印
署名人: 筒井 亮 印

2010年度日本天文学会各賞について

2010年度日本天文学会各賞は、2011年2月5日の評議員会で次のように決定しましたので報告いたします。

◎天体発見賞(7氏)

- 西村栄男(にしむらひでお)氏: 新星へびつかい座V2673の発見, 新星へびつかい座V2674の発見
- 西山浩一(にしやまこういち)氏・椋島富士夫(かばしまふじお)氏: 新星さそり座V1310の発見, はくちょう座V407の新星爆発の検出, 新星いて座V5586の発見, 新星さそり座V1311の発見, 新星わし座V1723の発見
- 池谷 薫(いけやかおる)氏: 彗星C/2010 V1(Ikeya-Murakami)の発見
- 坪井正紀(つばいまさき)氏: 超新星2010Bの発見, 超新星2010giの発見, 超新星2010gzの発見,
- 板垣公一(いたがきこういち)氏: 超新星2010aiの発見, 超新星2010cpの発見, 超新星2010crの発見,

超新星 2010dq の発見, 超新星 2010gv の発見, 超新星 2010he の発見, 超新星 2010ki の発見, 超新星 2010kp の発見, 超新星 2010kx の発見

- 小石川正弘 (こいしかわまさひろ) 氏: 超新星 2010jo の発見

◎天体発見功労賞 (9 氏)

- 小嶋 正 (こじまただし) 氏: はくちょう座 V407 の新星爆発の独立検出, 新星さそり座 V1311 の独立発見
- 坂庭和夫 (さかにわかずお) 氏: はくちょう座 V407 の新星爆発の独立検出
- 多胡昭彦 (たごあきひこ) 氏: はくちょう座 V407 の新星爆発の独立検出
- 櫻井幸夫 (さくらいゆきお) 氏: 新星 さそり座 V1311 の独立発見
- 西村栄男 (にしむらひでお) 氏: 新星 さそり座 V1311 の独立発見
- 村上茂樹 (むらかみしげき) 氏: 彗星 C/2010 V1 (Ikeya-Murakami) の独立発見
- 後藤邦昭 (ごとうくにあき) 氏: 超新星 2010bj の独立発見
- 小島信久 (こじまのぶひさ) 氏: 超新星 2010gl の独立発見
- 板垣公一 (いたがきこういち) 氏: 超新星 2010hh の独立発見

◎天文功労賞 (3 氏)

長期的な業績

- 門田健一 (かどたけんいち) 氏: 「長期にわたる膨大な数の彗星観測および新天体確認への貢献」

短期的な業績

- 立川正之 (たちかわまさゆき) 氏: 「木星面上の発光現象の検出」
- 金子静夫 (かねこしずお) 氏: 「明るい や座 WZ 型矮新星の独立発見」

◎林 忠四郎賞 (1 氏)

- 河合誠之氏: 東京工業大学・教授
研究の表題「ガンマ線バーストの系統的研究」

◎研究奨励賞 (3 氏)

- 鈴木 建氏: 名古屋大学大学院理学研究科・准教授
研究テーマ「コロナ加熱・太陽風加速理論の構築と恒星風・円盤風への応用」
- 長尾 透氏: 愛媛大学大学院理工学研究科数理物質科学専攻・助教
研究テーマ「宇宙化学進化の観測的研究」
- 馬場 彩氏: 宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所特定課題研究員, ダブリン高等研究所シュレディンガーフェロー
研究テーマ「X 線観測による銀河系内宇宙線加速源の研究」

◎欧文研究報告論文賞 (2 編)

- 論文題目: Ly α Emitters at $z=5.7$ in the Subaru Deep Field
著者: Kazuhiro Shimasaku, Nobunari Kashikawa, Mamoru Doi, Chun Ly, Matthew A. Malkan, Yuichi Matsuda, Masami Ouchi, Tomoki Hayashino, Masanori Iye, Kentaro Motohara, Takashi Murayama, Tohru Nagao, Kouji Ohta, Sadanori Okamura, Toshiyuki Sasaki, Yasuhiro Shioya, and Yoshiaki Taniguchi
出版年等: 2006, Vol. 58, pp. 313–334
- 論文題目: Monte Carlo Simulator and Ancillary Response Generator of Suzaku XRT/XIS System for Spatially Extended Source Analysis
著者: Yoshitaka Ishisaki, Yoshitomo Maeda, Ryuichi Fujimoto, Masanobu Ozaki, Ken Ebisawa, Tadayuki Takahashi, Yoshihiro Ueda, Yasushi Ogasaka, Andrew Ptak, Koji Mukai, Kenji Hamaguchi, Masaharu Hirayama, Taro Kotani, Hidetoshi Kubo, Ryo Shibata, Masatoshi Ebara, Akihiro Furuzawa, Ryo Iizuka, Hirohiko Inoue, Hideyuki Mori, Shunsaku Okada, Yushi Yokoyama, Hironori Matsumoto, Hiroshi Nakajima, Hiroya Yamaguchi, Naohisa Anabuki, Noriaki Tawa, Masaaki Nagai, Satoru Katsuda, Kiyoshi Hayashida, Aya Bamba, Eric D. Miller, Kosuke Sato, and Noriko Y. Yamasaki
出版年等: 2007, Vol. 59, pp. S113–S132

(社)日本天文学会へ2010年10月16日~2011年2月15日に入会された方, 移籍された方, 退会された方, 除名された方をお知らせします。

正会員入会 (31名)

野村真理子 お茶の水女子大・大学院人間文化創成科学 (在学)
 二瓶亮太 筑波大・大学院数理物質科学 (在学)
 篠木新吾 東京大・大学院理 (在学)
 橋本拓也 東京大・大学院理 (在学)
 後藤 孟 総研大・高エネルギー加速器科学 (在学)
 二本松佳樹 筑波大・大学院数理物質科学 (在学)
 古澤 峻 早稲田大・大学院先進理工 (在学)
 古屋隆太 東京大・大学院理 (在学)
 柏木俊哉 東京大・大学院理 (在学)
 格和 純 広島大・大学院理 (在学)
 藤澤幸太郎 東京大・大学院総合文化 (在学)
 高棹真介 京都大・理 (在学) ※大学院進学予定
 遠藤 渉 JAXA/東京大・大学院理 (在学)
 加藤祐悟 広島大・大学院理 (在学)
 柴田三四郎 甲南大・大学院自然科学 (在学)

柳澤洋文 大阪教育大・大学院教育 (在学)
 鈴木宏聡 茨城大・理 (在学) ※大学院進学予定
 宮武広直 東京大・大学院理 (在学)
 吉田憲悟 立命館大・理工 (在学) ※大学院進学予定
 菊地英仁 東京理科大・大学院理工 (在学)
 藤井大地 大阪教育大・大学院教育 (在学)
 中川辰一 大阪教育大・大学院教育 (在学)
 龍野洋平 大阪教育大・大学院教育 (在学)
 寺木悠人 大阪大・大学院理 (在学)
 川上孝介 東京工業大・理 (在学) ※大学院進学予定
 吉田一樹 筑波大・大学院教育 (在学)
 佐藤匡史 九州大・大学院理 (在学)
 Ozden Sengul 東京大・大学院理 (在学)
 菊地里実 埼玉大・大学院理工 (在学)
 平野信吾 東京大・大学院理 (在学)
 山下拓時 JAXA/東京工業大・大学院理工

準会員入会 (13名)

大谷由香理 東京大・大学院理 (在学)
 大曾根聡子 千葉県船橋市在住
 高見澤今朝雄 高見澤今朝雄事務所
 古谷郁也 須磨学園高校 (在学)
 森 克敬 名古屋大・大学院理 (在学)
 藤井悠里 名古屋大・大学院理 (在学)
 中村正義 東京都千代田区在住

安本誠一 国際医療福祉大・福岡リハビリテーション
 寺瀬光一郎 花王(株)メイクアップビューティ研究所
 木下敏輝 千葉市立千葉高校 (在学)
 猫本真智子 猫本商事株式会社
 塩田和生 神奈川県小田原市在住
 石橋 彰 神奈川県横浜市在住

賛助会員入会 (1社)

キャノン(株)

移籍会員 [準→正] (4名)

森 正樹 立命館大・理工
 久保勇樹 情報通信研究機構・宇宙環境計測グループ
 白鳥 裕 東海大・総合経営
 安田哲也 埼玉大・大学院理工

移籍会員 [正→準] (23名)

相川利樹 上田昌良 小田桐茂良 相馬 充 日江井榮二郎 槇野文命 横尾廣光 水本好彦
 柴田 大 中屋秀彦 鈴木 勲 伊吹山秋彦 加藤知弘 濱口佳之 恩田香織 薮野 綾
 河口恭二郎 小林太一 堀 安範 佐藤真弓 中野わかな 槇坪宏展 牛尾雅佳

正会員退会 (51名)

木山喜隆 小柴昌俊 清水康廣 平 正 高瀬文志郎 森本雅樹 横山 恪 川井 敦
 佐藤潤一 西巻祐一郎 廣居久美子 乾 達也 西村高德 竹内友岳 原田順勘 宮川雄大
 三宅晶子 秋月千鶴 中村良子 日置智紀 住友那緒子 芝 祥一 村田浩也 佐久間 優

芝田たける	海崎光宏	菅原知佳	久保井彬仁	森 由希	竹中恵理	立浪千尋	初鳥陽一
橋本祐樹	藤村大介	坂根悠介	坂田実沙	山倉鉄矢	竹中敬雅	國實真人	松本浩平
野口和久	中岡正奈	丸山美代子	田中淳平	中島健太	松木 舞	濟川健太郎	谷 聡人
別所慎史	坂下智徳	高木重次					

準会員退会 (55名)

秋葉 誠	市川泰男	奥野賢雄	小幡常啓	梶浦唯史	北原政子	木寺早人	栗原正博
近藤 公	佐藤直宣	佐場野裕	関口英昭	瀧上 誠	谷垣内宏之	長井 保	中里三武郎
永橋久文	星野 實	堀端一生	宮内建興	森本哲也	八木淳一郎	八木陸郎	矢木義勝
吉田和資	吉野泰造	高橋卓志	岩山直人	林 良子	大森幸子	川井和彦	深川真市
五十嵐道子	政木義治	永田洋久	脇坂英司	戸口 豊	木暮大宣	渡邊碩志	山下 敏
芹澤靖隆	羽田野裕史	潮見幸江	仙波 茂	土居政雄	村上英義	武重偉喜	山本直紀
池尻祐輝	佐野雄二	松田佳奈	荒井武彦	坂上 務	中沢義明		

正会員除名 (15名)

田村啓輔	Edwards Philip	牧 秀樹	石津尚喜	林 暁子	工藤祐允	佐藤大介
北園 武	金 明寛	村田千紘	田中 誠	園田隼一	小川崇之	小尾善男
						中村江里

準会員除名 (10名)

西村靖夫	長谷川寛	坂井 健	伊藤篤史	Baltasar Vila Vilaro	三浦くみの	白井裕久
水谷輝男	佐藤拓也	渡辺泳樹				

訂 正

天文月報 2011 年 (第 104 卷) 3 月号 153 ページ掲載の春季総会第 1 号議案に間違いがありました。お詫びして訂正させていただきます。

正会員退会者数

【誤】 559 → 【正】 59

本原顕太郎 (日本天文学会庶務理事)

天文月報オンライン/投稿用アップローダーの ID とパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード (5桁の数字と) **vol98** (5文字) の計 10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

柏川伸成(編集長), 市来浄與, 勝川行雄, 鈴木 建, 徂徠和夫, 竹井 洋, 野田寛大, 浜名 崇, 廣田朋也, 前野将太, 山崎 了

平成 23 年 3 月 20 日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社
定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
Tel: 0422-31-1359 (事務所)/0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

©社団法人日本天文学会 2011 年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)